

## 「明日をあきらめない… がれきの中の新聞社 ～河北新報のいちばん長い日～」

### 第8回日本放送文化大賞 グランプリ受賞

テレビ東京が東日本大震災発生から一年の節目に放送した「明日をあきらめない…がれきの中の新聞社 ～河北新報のいちばん長い日～」が、東京ドラマアワード2012単発ドラマ部門グランプリに続いて、第8回日本放送文化大賞においてグランプリを受賞しました。



■あらすじ 2011年3月11日。あの日、自らも被災しながら、それでも新聞の発行を続けた新聞社があった。東北の地元紙・河北新報である。未曾有の大震災の実情を伝えようとするジャーナリストの熱意と葛藤。新聞を作り続けるために奮闘する社員たち。そして不眠不休で危険な現場取材を続ける記者を支える家族…。大きな被害を受けながらも、地元の人々のために情報を発信し続けた地元紙の奮闘と苦悩を描く、真実のドラマ。

〈日本放送文化大賞とは〉

日本民間放送連盟が、会員各社で質の高い番組がより多く、制作・放送されることを促すことを目的に、2005年に制定。“視聴者・聴取者の期待に応えるとともに、放送文化の向上に寄与した”と評価される番組を顕彰し、ラジオ、テレビそれぞれにグランプリ1番組、準グランプリ1番組を選定。



## 宇宙空間を体感できる 移動式全天球シアター「SPACE BALL」誕生

テレビ東京は、全身が映像と音に包まれて浮遊感覚が体感できる、世界でたった一つの移動式全天球シアター「SPACE BALL」で、皆様を宇宙の旅へお連れします。

直径約10メートルの球形スクリーン内部にあるガラスのフローティングステージが、前後左右、上下…、全身を包む果てしなき星空と映像、立体音響と相まって、皆様の意識が変化するような新しい体験に導きます。天球シアターそのものがひとつのアート作品であり、複数のプロジェクターが巨大球体に地球や様々な惑星を映し出します。

開発プロデュースはプラネタリウムクリエイターの太平貴之氏。世界に誇るMEGASTARの最新機能と超高解像度映像は圧倒的な宇宙空間を創り出します。

「SPACE BALL」で体験するプログラムも、シアターに負けないハイクオリティな世界を目指します。世界最高峰の宇宙データベースを積んだスペースエンジン「Uniview」開発者の高幣俊之氏、「HAYABUSA-BACK TO THE EARTH」監督の上坂浩光氏と太平貴之氏が、これまでにない宇宙の旅を形作ります。宇宙航空研究開発機構

(JAXA) も最新の衛星画像や、宇宙からの映像で協力。アドバイザーに宇宙飛行士の毛利衛氏を迎え、実際の宇宙体験者ならではのリアルな宇宙の旅を演出します。

### at home presents SPACE BALL (東京会場)

- 期間 2012年12月15日(土)～2013年1月27日(日)  
10時～22時 ※12月15日(土)のみ13時～22時  
※2013年1月1日(火・祝)は休演 毎日36回上映
- 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 地下1階 ロビーギャラリー
- 定員 各回30名 10分プログラム 完全入替制
- 入場料(税込) 当日/大人1,800円、子供600円  
前売り/大人1,500円、子供500円  
※大阪・名古屋・福岡ほか地方会場も順次開催予定
- 主催 テレビ東京
- 開発プロデューズ 太平貴之(大平技研)
- アドバイザー 毛利衛(宇宙飛行士)
- 協力 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、  
日本経済新聞社
- 特別協力 株式会社東京国際フォーラム
- 特別協賛 アットホーム株式会社
- お問合せ 【イベントについて】  
ハローダイヤル: 03-5777-8600(全日 8:00～22:00)  
【チケットについて】  
ticket board インフォメーションセンター:  
0570-006-506(火～土 12:00～18:00 祝日除く)